



2024年3月期 第2四半期決算短信(日本基準)(非連結)

2023年11月6日

上場会社名 阪神内燃機工業株式会社
コード番号 6018 URL <https://www.hanshin-dw.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 取締役常務執行役員
四半期報告書提出予定日 2023年11月10日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 078-332-2081

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第2四半期の業績(2023年4月1日～2023年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第2四半期	4,753	10.4	310	8.0	338	6.4	227	8.3
2023年3月期第2四半期	4,303	10.9	337	7.2	361	5.7	248	5.9

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第2四半期	70.40	69.99
2023年3月期第2四半期	76.93	76.49

(2) 財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	%	百万円	%	%	円 銭
2024年3月期第2四半期	21,286		14,066		66.0	4,340.69
2023年3月期	20,985		13,853		65.9	4,282.39

(参考)自己資本 2024年3月期第2四半期 14,042百万円 2023年3月期 13,829百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期		0.00		50.00	50.00
2024年3月期		0.00			
2024年3月期(予想)				50.00	50.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

配当予想の修正については、本日(2023年11月6日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異並びに業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	9,500	4.8	550	0.0	600	0.4	410	0.8	126.81

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

業績予想の修正については、本日(2023年11月6日)公表いたしました「2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異並びに業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料7ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記(4)四半期財務諸表に関する注記事項(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
以外の会計方針の変更 : 無
会計上の見積りの変更 : 無
修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2024年3月期2Q	3,245,028 株	2023年3月期	3,239,174 株
期末自己株式数	2024年3月期2Q	9,962 株	2023年3月期	9,872 株
期中平均株式数(四半期累計)	2024年3月期2Q	3,231,798 株	2023年3月期2Q	3,226,047 株

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	2
2. 四半期財務諸表及び主な注記	3
(1) 四半期貸借対照表	3
(2) 四半期損益計算書	5
第2四半期累計期間	5
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	6
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	7
(継続企業の前提に関する注記)	7
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	7
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	7
(会計方針の変更)	7
3. 補足情報	8
(1) 受注及び販売の状況	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間におけるわが国経済は、設備投資の改善やサービス中心の消費復調により、緩やかな回復基調となっております。世界経済については、高金利・高インフレの下、欧米の景気回復の遅れや中国経済の減速継続により、不透明感の強い状況が継続しております。

外航海運業界は、活況を極めていたコンテナ船市況が大きく軟化しておりますが、一方でバルク建造が増加傾向にあり、大型船建造の造船所は3年強の受注は確保しております。また、当社2サイクル機関の対象である近海船市場は、現状の船価に運賃が釣り合わない状況ですが、老齢船が多い割に発注残が少ないということもあり、建造のニーズはまだしばらくは継続すると思われまます。

当社の主要マーケットである内航海運業界におきましては、用船料は少しずつ改善されておりますが、引き続き船価高の状態が続いており、建造隻数は伸び悩んでおります。ただし、老齢船対策に迫られつつある状況となっており、オペレーター社船や複数隻所有の船主を中心に建造へ前向きな動きがみられるようになってまいりました。また、海外案件につきましては、緩やかながら回復傾向を示しており、円安効果もあり日本での建造案件も散見されるようになりました。

このような企業環境のもと、当第2四半期累計期間の経営成績につきましては、受注高は主機関の受注が増加し、前年同期比12.3%増の5,317百万円となりました。売上高についても、主機関、部分品ともに増加したことから、同10.4%増の4,753百万円となりました。受注残高は同22.8%増の4,315百万円となりました。

損益面につきましては、資材コストアップの影響を製品価格に転嫁しきれていないことや大型設備投資による減価償却費の増加があったものの、部分品と舶用事業以外のCMR（鋳造・金属機械加工）の販売増加で補い、当第2四半期累計期間の業績予想を上回って営業利益は310百万円（前年同期比8.0%減）、経常利益は338百万円（同6.4%減）となり、四半期純利益は227百万円（同8.3%減）となりました。

事業区分別では、主機関の売上高は、近海船向け2サイクル機関の出荷が増加したことから2,133百万円（前年同期比8.3%増）となりました。部分品等の売上高は、国内の部分品・修理工事や、舶用事業以外のCMR（鋳造・金属機械加工）も増加したことから2,620百万円（同12.3%増）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

(資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産は10,736百万円となり、前事業年度末に比べ492百万円減少いたしました。これは主に電子記録債権を含む売上債権が137百万円、棚卸資産が96百万円増加したものの、現金及び預金が717百万円減少したことによるものであります。固定資産は10,550百万円となり、前事業年度末に比べ794百万円増加いたしました。これは主に有形固定資産が130百万円、投資有価証券が199百万円、投資その他の資産のその他に含まれる長期預金が500百万円増加したことによるものであります。この結果、総資産は21,286百万円となり、前事業年度末に比べ301百万円増加いたしました。

(負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債は4,010百万円となり、前事業年度末に比べ67百万円増加いたしました。これは主に未払法人税等が57百万円、契約負債が108百万円減少したものの、電子記録債務を含む仕入債務が184百万円増加したことによるものであります。固定負債は3,209百万円となり、前事業年度末に比べ20百万円増加いたしました。これは主に退職給付引当金が30百万円増加したことによるものであります。この結果、負債合計は7,220百万円となり、前事業年度末に比べ88百万円増加いたしました。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産合計は14,066百万円となり、前事業年度末に比べ213百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が66百万円、その他有価証券評価差額金が138百万円増加したことによるものであります。この結果、自己資本比率は66.0%（前事業年度末は65.9%）となりました。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期累計期間において業績予想を上回ったことをうけ、2024年3月期の通期業績予想について上方修正させていただき、併せて配当予想についても上方修正させていただきます。詳細につきましては、本日（2023年11月6日）公表の「2024年3月期第2四半期累計期間の業績予想数値と実績値との差異並びに業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,619,634	4,902,445
受取手形及び売掛金	2,884,964	2,639,321
電子記録債権	485,101	868,229
製品	277,742	332,400
仕掛品	930,175	998,673
原材料及び貯蔵品	947,673	920,767
その他	85,847	77,154
貸倒引当金	△2,100	△2,200
流動資産合計	11,229,038	10,736,791
固定資産		
有形固定資産		
建物（純額）	1,080,175	1,055,242
構築物（純額）	121,500	128,579
機械及び装置（純額）	534,608	482,956
車両運搬具（純額）	1,867	4,006
工具、器具及び備品（純額）	161,594	130,230
土地	5,817,871	5,817,871
建設仮勘定	82,092	311,550
有形固定資産合計	7,799,710	7,930,438
無形固定資産	239,075	256,358
投資その他の資産		
投資有価証券	1,092,818	1,292,524
その他	658,068	1,098,482
貸倒引当金	△33,700	△27,800
投資その他の資産合計	1,717,187	2,363,206
固定資産合計	9,755,973	10,550,004
資産合計	20,985,012	21,286,795
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	976,359	978,240
電子記録債務	806,166	989,231
未払法人税等	185,426	127,774
契約負債	1,065,580	957,100
賞与引当金	195,000	195,000
製品保証引当金	39,300	50,000
受注損失引当金	74,600	63,200
その他	600,626	650,042
流動負債合計	3,943,059	4,010,589

(単位：千円)

	前事業年度 (2023年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2023年9月30日)
固定負債		
再評価に係る繰延税金負債	1,473,294	1,473,294
退職給付引当金	1,410,458	1,441,457
偶発損失引当金	15,000	15,000
その他	289,934	279,870
固定負債合計	3,188,687	3,209,622
負債合計	7,131,747	7,220,211
純資産の部		
株主資本		
資本金	820,248	824,653
資本剰余金	62,074	66,479
利益剰余金	9,249,746	9,315,791
自己株式	△13,032	△13,204
株主資本合計	10,119,036	10,193,720
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	365,535	504,171
土地再評価差額金	3,344,541	3,344,541
評価・換算差額等合計	3,710,077	3,848,713
新株予約権	24,150	24,150
純資産合計	13,853,264	14,066,583
負債純資産合計	20,985,012	21,286,795

(2) 四半期損益計算書
(第2四半期累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
売上高	4,303,877	4,753,400
売上原価	3,143,625	3,651,315
売上総利益	1,160,251	1,102,084
販売費及び一般管理費	822,372	791,385
営業利益	337,879	310,699
営業外収益		
受取利息	381	414
受取配当金	16,829	17,057
為替差益	227	4,905
その他	6,714	6,149
営業外収益合計	24,153	28,526
営業外費用		
支払利息	2	2
貸貸費用	130	184
その他	182	530
営業外費用合計	315	716
経常利益	361,717	338,510
特別利益		
固定資産売却益	1,908	—
特別利益合計	1,908	—
特別損失		
固定資産処分損	2,435	—
特別損失合計	2,435	—
税引前四半期純利益	361,190	338,510
法人税等	113,000	111,000
四半期純利益	248,190	227,510

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	361,190	338,510
減価償却費	155,834	205,261
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△3,000	—
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	44,252	30,998
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△2,900	△5,800
製品保証引当金の増減額 (△は減少)	△7,400	10,700
受注損失引当金の増減額 (△は減少)	37,100	△11,400
受取利息及び受取配当金	△17,211	△17,472
支払利息	2	2
固定資産処分損益 (△は益)	526	—
売上債権の増減額 (△は増加)	322,332	△240,063
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△262,445	△96,249
仕入債務の増減額 (△は減少)	△101,541	184,945
その他	△29,417	12,527
小計	497,324	411,961
利息及び配当金の受取額	21,171	24,027
法人税等の支払額	△117,933	△165,434
営業活動によるキャッシュ・フロー	400,561	270,554
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△1,800,000	△1,300,000
定期預金の払戻による収入	1,800,000	1,800,000
長期預金の預入による支出	—	△500,000
有形固定資産の取得による支出	△169,054	△294,923
有形固定資産の売却による収入	1,600	—
無形固定資産の取得による支出	△51,171	△26,606
投資有価証券の取得による支出	△100,500	—
その他	204	248
投資活動によるキャッシュ・フロー	△318,921	△321,281
財務活動によるキャッシュ・フロー		
配当金の支払額	△128,453	△160,407
その他	6,179	△1,430
財務活動によるキャッシュ・フロー	△122,273	△161,838
現金及び現金同等物に係る換算差額	△241	△4,622
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△40,875	△217,188
現金及び現金同等物の期首残高	4,352,486	4,619,634
現金及び現金同等物の四半期末残高	4,311,611	4,402,445

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

(会計方針の変更)

(電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱いの適用)

「電子記録移転有価証券表示権利等の発行及び保有の会計処理及び開示に関する取扱い」(実務対応報告第43号 2022年8月26日 企業会計基準委員会)を第1四半期会計期間の期首から適用することといたしました。なお、これによる四半期財務諸表への影響はありません。

3. 補足情報

(1) 受注及び販売の状況

① 受注の状況

(単位 百万円：未満切捨)

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔 2022. 4. 1 から 2022. 9. 30 まで 〕	〔 2023. 4. 1 から 2023. 9. 30 まで 〕	〔 2022. 4. 1 から 2023. 3. 31 まで 〕
受 注 高	主 機 関	2,399 (50.7%)	2,697 (50.7%)	5,116 (52.6%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	2,333 (49.3%)	2,620 (49.3%)	4,615 (47.4%)
	合 計	4,733 (100.0%)	5,317 (100.0%)	9,731 (100.0%)
受 注 残 高	主 機 関	3,514 (100.0%)	4,315 (100.0%)	3,751 (100.0%)
	部 分 品 ・ 修 理 工 事	- (-)	- (-)	- (-)
	合 計	3,514 (100.0%)	4,315 (100.0%)	3,751 (100.0%)

② 販売の状況

区 分		前年同四半期 (累計)	当四半期 (累計)	(参考)前期
		〔 2022. 4. 1 から 2022. 9. 30 まで 〕	〔 2023. 4. 1 から 2023. 9. 30 まで 〕	〔 2022. 4. 1 から 2023. 3. 31 まで 〕
主 機 関		1,970 (45.8%)	2,133 (44.9%)	4,449 (49.1%)
部 分 品 ・ 修 理 工 事 (うちCMR(鑄造・金属機械加工))		2,333 (54.2%) (185) (4.3%)	2,620 (55.1%) (291) (6.1%)	4,615 (50.9%) (439) (4.8%)
合 計 (うち輸出)		4,303 (100.0%) (701) (16.3%)	4,753 (100.0%) (1,081) (22.7%)	9,064 (100.0%) (1,538) (17.0%)